

【お得な前売券・先行ペア割チケット 好評販売中!!】

いしざきこうよう
特別展「生誕140年記念 石崎光瑤」

会期／2024年9月14日（土）～11月10日（日） 会場／京都文化博物館 4・3階展示室

若冲を超える！絢爛の花鳥画

2024年9月14日（土）から11月10日（日）までの期間、京都文化博物館にて特別展「生誕140年記念 石崎光瑤」を開催します。

いしざきこうよう
石崎光瑤（1884～1947）は、鮮やかな色彩で華麗な花鳥画を数多く残した近代京都の日本画家です。富山に生まれた光瑤は、19歳で京都に出、竹内栖鳳に入門。1916年から翌年にかけてインドを旅し、帰国後、その成果として《熱国妍春》、《燦雨》を描いて文展・帝展で二年連続の特選を受け、注目を集めました。光瑤は、奇想の絵師として知られる伊藤若冲に早くから関心を持ち、若冲の代表作を発見し、雑誌に紹介、制作にも活かしました。本展は、光瑤の故郷にある南砺市立福光美術館（富山県）のコレクションを中心に、初期から晩年までの代表作を一挙公開し、光瑤の画業の全貌を紹介します。



みどころ

- 全国初!! 石崎光瑤の大規模回顧展
- 絢爛豪華な花鳥画の大作が目白押し!!
代表作《熱国妍春》《燦雨》《白孔雀》を同時に見られるのは京都会場だけ!!
* 10/1～10/14の2週間のみ
- 若冲に学び、若冲を超える!? 奇想の絵師・伊藤若冲を評価・発見
- 通常非公開の高野山 金剛峯寺奥殿襖絵20面を再現展示。
うち《雪嶺》8面は寺外初公開。
- 日本近代登山史に名を刻む“登山家”石崎光瑤にも注目!!



《白孔雀》（右隻・部分）1922年 大阪中之島美術館蔵

報道資料のご案内

報道関係者向けの各種資料を公開しております。

- デザイン版プレスリリース
<https://x.gd/4yOJK>



- 記者発表動画
<https://x.gd/pNTms>



開催概要

展覧会名：特別展「生誕140年記念 石崎光瑤」 * 会期中展示替えがあります
会 期：2024年9月14日（土）～ 11月10日（日）
開室時間：10：00～18：00（水・金曜は20：30まで★） 入場は閉室の各30分前まで
★ナイトミュージアム実施決定に伴い、夜間延長開館します。
休館日：月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）
会 場：京都文化博物館4・3階展示室 [〒604-8183 京都市中京区三条高倉]
主 催：京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、京都新聞
後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都
お問合せ：京都文化博物館 075-222-0888 <https://www.bunpaku.or.jp/>

お得な前売券・先行ペア割チケット 好評販売中 !!

入場料 (税込)	一般	大高生	中小生
当日券	1,800円	1,200円	600円
前売／団体 (20名以上)	1,600円	1,000円	400円

* 未就学児は無料 (ただし、要保護者同伴)。 * 学生料金で入場の際には学生証をご提示ください。 * 障がい者手帳などをご提示の方と付き添い1名までは無料。
* 上記料金で2階総合展示と3階フィルムシアターもご覧いただけます。(ただし入場は19：00 (閉場19：30) まで。また催事により別途料金が必要な場合があります。)
* 前売券は 2024年7月13日 (土) ～9月13日 (金) までの期間限定販売 (会期中は当日券のみ)。

お得な先行ペア割チケット

3,000円 (税込／一般のみ) ※1名で2回利用も可
販売期間：2024年7月13日 (土) ～9月13日 (金)

【主なチケット販売所】

京都文化博物館、公式オンラインチケット、ローソンチケット (Lコード：51927)、チケットぴあ (Pコード：687-005)、セブンチケット (セブンコード：106-646)、イープラス、CN プレイガイド、アソビュー！、楽天チケットほか

ナイトミュージアム実施決定 !!

毎週水、金曜日は20：30 まで夜間延長開館 (最終入場20：00) ! さらに、スペシャルプログラム (下記) ナイトイベント) も開催いたします。 ※夜間延長開館は、『令和6年度文化庁Innovate Museum 事業』の補助を受けて、ナイトミュージアム KANSAI の取組の一環として実施します。

【ナイトタイム限定! 解説パンフレット配布】

もっと展示が楽しくなる解説パンフレットを水・金曜日の17：00以降に無料配布! ※配布予定数量に達し次第終了となります。

関連イベント * 要事前申込

- 【1】講演会「石崎光瑠 魅力、再発見」 * 参加費無料 (ただし本展入場券<半券可>の提示が必要)
日時：9月21日 (土) 10:30～12:00 会場：3階フィルムシアター 定員：150名
講師：植田彩芳子 (京都文化博物館主任学芸員)
- 【2】座談会「深掘り! 石崎光瑠を語り尽くす」 * 参加費無料 (ただし本展入場券<半券可>の提示が必要)
日時：9月29日 (日) 10：30～12：00 会場：3階フィルムシアター 定員：150名
登壇者：渡邊一美 氏 (南砺市立福光美術館元副館長)、川邊紫音 氏 (南砺市立福光美術館学芸員)
松井菜摘 氏 (京都市立芸術大学芸術資料館学芸員)、植田彩芳子
- 【3】特別対談「光瑠×若冲 その魅力を語る」 * 参加費無料 (ただし本展入場券<半券可>の提示が必要)
『若冲』の著者である小説家・澤田瞳子氏からみた光瑠の魅力とは。極彩色の花鳥画家・伊藤若冲に憧れた光瑠。二人の物語 (ストーリー) に迫ります。
日時：10月6日 (日) 14:00～15:30 会場：別館ホール 定員：200名
出演：澤田瞳子氏 (小説家)、植田彩芳子
* 保育ルーム設置予定。詳細は博物館HPにてご案内します。
- 【4】ワークショップ「深掘り! 鑑賞ワークショップ」 ☞ ナイトイベント * 参加費無料 (ただし本展入場券<半券可>が必要)
美術に興味はあるけれど、どう鑑賞したらいいかわからない…そんな皆さんにぴったりのワークショップ!
担当学芸員の説明のもとワークシートに沿って、作品を鑑賞します。秋の夜長、じっくり作品に向き合ってみませんか。
日時：10月9日 (水) 18：30～19：30 会場：4・3階展示室 定員：15名

【1】 【2】 【3】 【4】 申込方法 ※【1】～【3】は受付中。【4】は8月20日 (火) 10：00受付開始。
往復はがきに住所・氏名 (返信面にも)・電話番号・希望イベント名を記入し、京都文化博物館「石崎光瑠展」係へお送りください。
または、当館ホームページ「特別展イベント申込フォーム」よりお申し込みください。
※先着順。定員に達し次第、受付を終了。※参加者1名ごとにお申込みください。

ギャラリートーク * 事前申込不要 * 参加費無料 (ただし当日の入場者に限る) * 会場：4・3階展示室

- コラボギャラリートーク「京都府立植物園×石崎光瑠」
植物園職員が光瑠作品の中に描かれた植物についてお話しします。
10月4日 (金)、10月18日 (金) 各日14：00～ (30分程度)
- 学芸員によるギャラリートーク
10月10日 (木)、10月24日 (木) 各日14：00～ (30分程度)
10月4日 (金)、10月11日 (金)、10月18日 (金) 各日18：30～ (30分程度) ☞ ナイトイベント
- 同時通訳付!! English ナイトギャラリートーク ☞ ナイトイベント
10月16日 (水)、10月30日 (水) * 詳細は決定次第、博物館HPでお知らせします

【広報画像申込書】 特別展「生誕140年記念 石崎光瑠」

【1】～【18】を広報用画像として提供いたします。ご希望の場合は下記よりお申込みください。

【申込フォーム】 * 同フォームより記者発表動画視聴もお申し込みいただけます。

<https://forms.gle/EamNVQfuigMSJsx7A>

※入力に難しい場合は、広報事務局までお問い合わせください。



【1】	【2】	【3】	
【4】	【5】	【6】	
【7】	【8】	【9】	
【10】		【11】	
【12】	【13】	【14】	
【15】	【16】	【17】	【18】

【広報画像申込書】 特別展「生誕140年記念 石崎光瑤」

【広報用画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります（会期終了まで）。使用後は、データの破棄をお願いいたします。
- 展覧会名、会期、会場、クレジットは必ず記載してください。
- 作品画像は全図でご使用ください。トリミング、文字乗せなどの加工・改変はできません。
- 転載、再放送など、二次使用される場合は別途申請をお願いいたします。なお、展覧会終了後の二次使用はできません。
- webサイトに掲載する場合は、72dpi 以下、400×400pixel 以下の解像度にし、コピーガードをかけてご掲載ください。
- 基本情報、画像使用などの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階のものを「広報事務局」にお送りください。
- 掲載・放送後は、必ず掲載紙（誌）、URL、同録DVDを下記「広報事務局」までお送りください。

【キャプション一覧】 ご希望の画像番号の□に✓をお願いします。

番号	クレジット一覧
1□	本展ティザービジュアル ※クレジット不要
2□	石崎光瑤《白孔雀》（左隻） 1922年 大阪中之島美術館蔵【展示期間：10／1～11／10】
3□	石崎光瑤《白孔雀》（右隻） 1922年 大阪中之島美術館蔵【展示期間：10／1～11／10】
4□	石崎光瑤《燦雨》（左隻） 1919年 南砺市立福光美術館蔵
5□	石崎光瑤《燦雨》（右隻） 1919年 南砺市立福光美術館蔵
6□	金剛峯寺奥殿〈雪嶺の間〉 ※襖絵は石崎光瑤《雪嶺》1935年
7□	石崎光瑤《虫類写生》（部分）1896～1903年 京都市立芸術大学芸術資料館蔵
8□	石崎光瑤《筧》（左隻） 1914年 南砺市立福光美術館蔵
9□	石崎光瑤《筧》（右隻） 1914年 南砺市立福光美術館蔵
10□	石崎光瑤《熱国妍春》1918年 京都国立近代美術館蔵【展示期間：9／14～10／14】
11□	金剛峯寺奥殿〈虹雉の間〉 ※襖絵は石崎光瑤《虹雉》1934年
12□	石崎光瑤 金剛峯寺奥殿襖絵《雪嶺》1935年 金剛峯寺蔵
13□	石崎光瑤《鶏之図（若冲の模写）》1926年 富山市郷土博物館蔵 【展示期間：左幅9／14～10／14、右幅10／16～11／10】
14□	石崎光瑤《霜月》1938年 東京藝術大学蔵【展示期間：10／16～11／10】
15□	石崎光瑤《襲》1942年 個人蔵
16□	石崎光瑤《聚芳》1944年 南砺市立福光美術館蔵
17□	石崎光瑤撮影「劔岳の絶巔」 原板：劔岳初登頂の記念写真（石崎光瑤撮影）／杉本誠収集作品 安曇野市蔵
18□	本展メインビジュアル ※クレジット不要

貴社名／	ご所属部署／
ご担当者／	TEL／
E-mail／	
貴媒体名／	媒体種／
掲載号・露出予定日／ 月号（ 月 日号）／ 月 日発売予定 □WEBへの転載あり	
サイトURL／	
媒体プレゼント用チケット／□希望（2組4名まで） ※1点以上の広報用画像使用必須 ※提供枚数に達した場合、提供を終了いたします ※発送は開幕直前になります。 お送り先／〒	

【報道に関するお問合せ】

特別展「生誕140年記念 石崎光瑤」広報事務局（ネネラコ内）

E-MAIL / ishizaki-koyo@nenelaco.com TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル